

入学を検討する皆さんへ



山口大学学長
谷澤幸生 医学博士

世の中は絶え間なく進歩し、大きく変化しています。情報通信技術の飛躍的發展は、人にやさしく、幸福をもたらす高度に情報化された社会、Society5.0への期待を高めています。

一方で、新型コロナウイルスの世界的蔓延、また、各地で散発する紛争や混乱の出口は不透明な状況にあります。

私は、2030年への大学のビジョンとして、「しなやかな人材」の養成を取り上げました。しなやかな人材とは、「変化する社会で柔軟な発想と行動がとれ」、「思慮、懐が深く」、「コミュニケーションが円滑にできる」ひとです。変革の時代において、人文社会科学分野の叡智により、直面する課題に果敢に取り組み、持続可能な共生社会の実現に貢献する「しなやかな人材」を養成するため、大学院「人間社会科学研究科」の設置を申請しています。



人文科学専攻
村上龍 博士
(文学)

私गतずさわる「美学」という学問分野は、芸術やポピュラー文化、ファッション、景観・観光、スポーツ、等々の多様な題材にそくして、「感性」についての思索をめぐらす、哲学の一分枝です。そうした探究に興味がある、そこで得た知見を将来の活動に活かしたい、という方々をお待ちしています。



経済学・経営学専攻
小嶋寿史 博士
(経済学)

世の中のいろいろな問題を考えるとき、経済学や経営学の観点があることは多いです。経済学や経営学は非常に役に立つ一方で、学問として研究すること自体がとても面白いという特徴も持っています。世の中で役立てるために経済学や経営学をマスターしていただいてもいいですし、研究の世界にとっぷりとつかって探求を深めていただいてもいいと思います。



臨床心理学専攻
春日由美 博士
(心理学)

臨床心理学専攻では、目に見えないけれど大切な「こころ」という視点から、人や社会について探求し、心理的支援について実践的に学びます。また本専攻のユニークな点として、データサイエンスについても学ぶことができます。心理学の視点から人や社会への理解を深めたい方、一人ひとりを大切にしたい心理的援助のスペシャリストを目指す方、私たちと共に一歩前に踏み出しましょう。



共創科学専攻
山本冴里 博士
(日本語教育学)

この社会の様々な側面について、疑問に思っていること、解決したいことはありませんか。私たちの研究科には、様々な分野の専門家が集まっています（ちなみに、私の場合は、日本語教育と複言語教育が専門です）。小さいかもしれないけれど、確実な一歩を踏み出すために、私たちと一緒に学んでみませんか。

? よくある質問

Q. 大学院に進学するメリットは何ですか。

A. ①「もっと研究したい」という知的好奇心や社会的問題への関心を充たす機会と時間を得られること
②資格取得や専門知識、技能の深化により、社会人として活躍する幅が広がること
③学部より更に、異なる専門分野の学生、教員と交流できること、などが挙げられます。

Q. 研究テーマはどのように決めるのですか。

A. 自分自身の問題意識をベースに、指導教員と相談しながら決定していきます。卒業論文を執筆した経験がある方は、卒業論文を発展させたものを選ぶこともありますが、卒業論文とは異なるテーマにすることも可能です。

Q. 学費はどのくらいですか。

A. 入学金が28万2000円、授業料が半期26万7900円（いずれも予定）となっています。

Q. 学部と大学院との違いは何ですか。

A. 二年間と短いですが、自分の研究テーマを絞って専門的に学び、研究できる点が学部との大きな違いです。直面する課題に対して、皆さんが自ら調査・分析し、思考し、解決していく力を、学部卒業時よりもさらに高めることを目指します。

Q. 修士論文が書けるかどうか不安です。

A. 研究テーマについて自分でしっかりと考えておく必要がありますが、入学後に論文の書き方も含めて指導していただきますので大丈夫です。

Q. 経済的な負担が心配です。

A. 学部と同様に入学金や授業料の減免制度があります。また大学院ではティーチング・アシスタントなど報酬のある業務を担当する機会もあります。



山口大学大学院

人間社会科学研究科

Graduate School of Humanities and Economic Sciences

2025年設置申請中

人文科学専攻	学位：文学	入学定員	7名
臨床心理学専攻	学位：心理学	入学定員	6名
経済学・経営学専攻	学位：経済学	入学定員	22名
共創科学専攻	学位：学術	入学定員	6名



問合せ先 総務企画部 企画・評価課
〒753-8511 山口市吉田 1677-1 083-933-5076

研究科・専攻の設置計画については、いずれも設置に関する手続き中であり、内容が変更されることがあります。

人間社会科学研究科

理念

人間性に対する深い洞察力と現代社会に対する的確な分析力を兼ね備えた人間社会科学の研究を基礎として、地域社会や個人が直面する課題に積極的に取り組み、持続可能な共生社会の実現に寄与する研究者及び専門性を必要とする業務に従事する人材を養成します。

目標

人間社会科学研究科は、人文科学、臨床心理学、経済学・経営学、共創科学の4専攻が設置された人文社会学系の大学院です。人文学部、経済学部、教育学部、国際総合科学部の学士課程の上に新たに修士課程を置き、各学部の専門的な知識を積極的に融合させ、各学生がより豊かな研究成果を導き出せるよう、充実した学びの場を提供します。

自律的研究力

実践的研究力

データ分析力

複眼的思考力

社会的協働

研究倫理

特色

専門分野の学修の深化

自らが専門とする学問領域について深く学び、研究することができます。

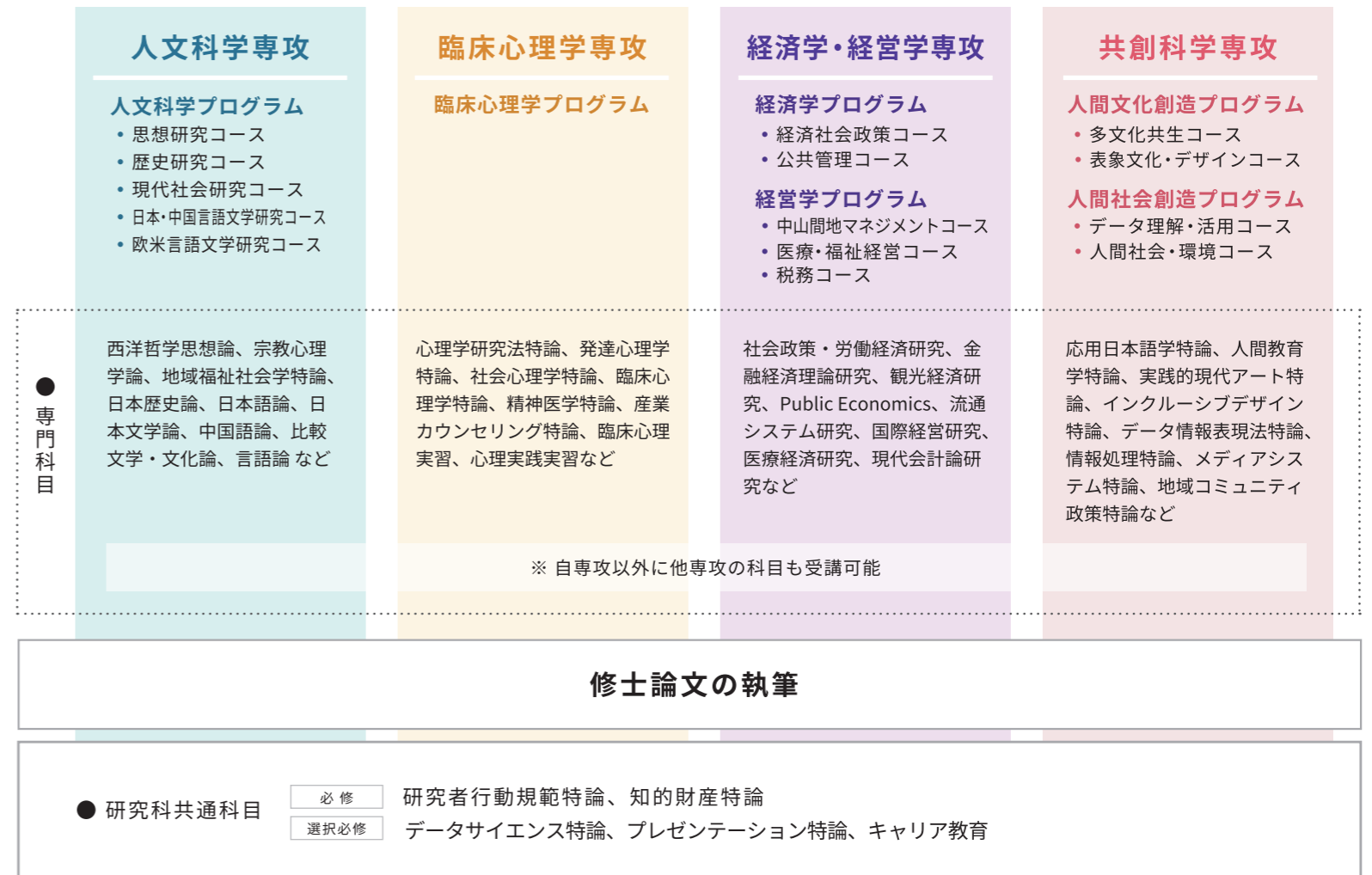
Society5.0を意識した学際教育

文系や理系といった枠組みにこだわらず、多様な学問領域を越境して学ぶことができます。

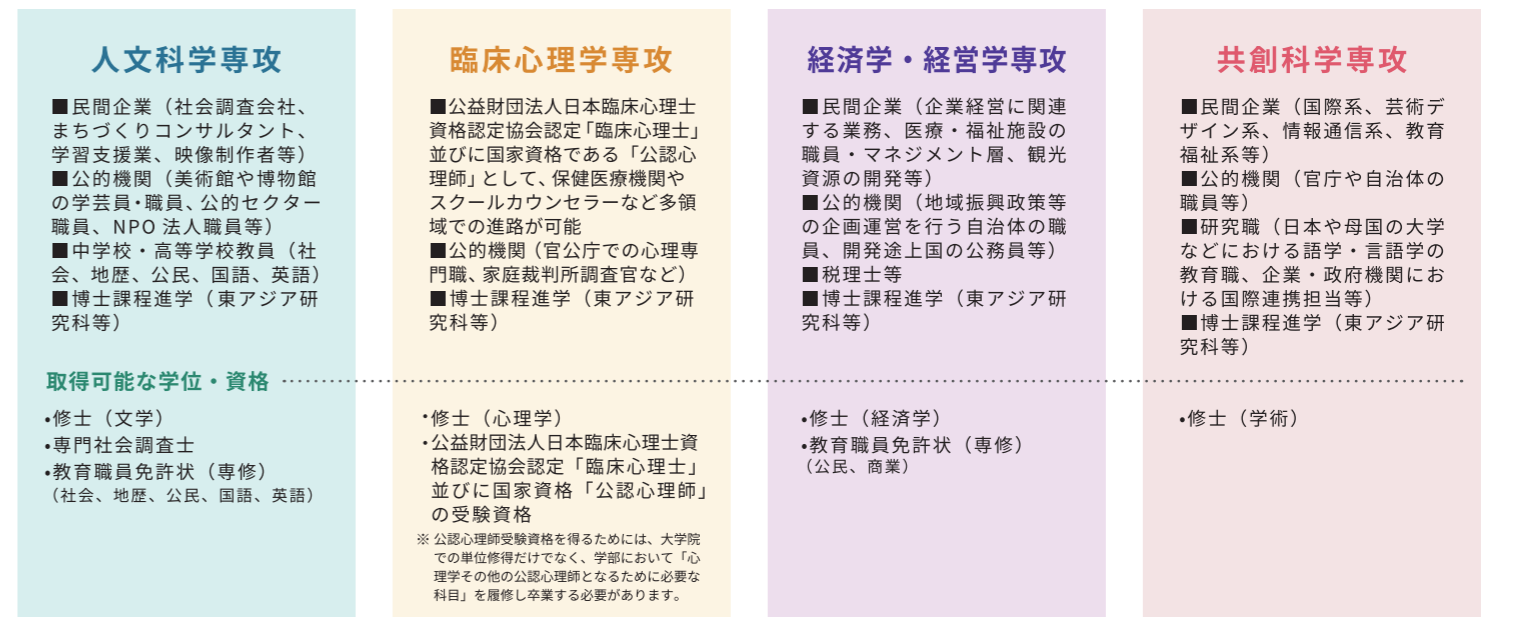
他専攻の学生・教員との交流 マスター plus プログラム

専攻を横断する教員グループが、近接したテーマで提供する科目群があります。それらの科目を履修することで、自らの研究テーマを複眼的な視点で捉えなおすことができます。

■ カリキュラムイメージ



■ 想定される進路



※ 研究科・専攻の設置計画については、いずれも設置に関する手続き中であり、内容が変更されることがあります。